# 第３回　南部地区街づくり協議会

日時：平成２６年８月２８日　午前 10 時 00 分
場所：天理市役所　４Ｆ　特別会議室

## 次第

１．　開　会

２．　あいさつ

３．　議事
（1）南部地区の個別の取り組みについて
　①柳本まちづくりマップ
　②長柄駅開業 100 周年記念イベント
（2）南部地区活性化プロジェクトについて
　①プロジェクト項目の全体確認
　②短期的プロジェクト（No.1～6）
　　・事業概要
　　・プロジェクト ToDo シート
　③中・長期的プロジェクト（No.7～12）
　　・事業概要

４．　次回の日程と主な協議内容

５．　閉会

---

【添付資料】
資料1　まちづくりマップ参考資料
資料2　長柄駅開業 100 周年記念イベント参考資料
資料3　南部地区活性化プロジェクト一覧
資料4　南部地区活性化プロジェクト ToDo シート
プロジェクト参考資料（No.1～5、9）

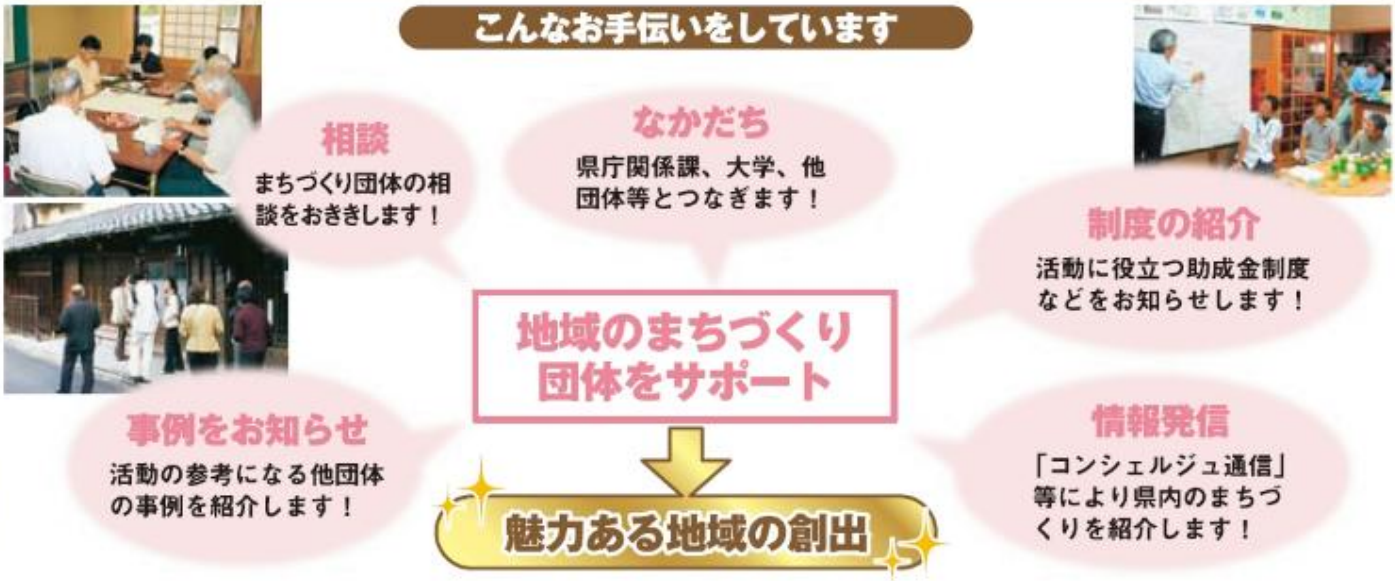
## なら・まちづくりコンシェルジュって？

**まちづくりの現場で頑張る皆さんをお手伝い！！**

奈良県では、**魅力ある地域の創出**をめざしています。
そのためには行政の取り組みだけでなく、地域の皆さんが主体となった活動が欠かせません。
そこで、平成19年度に「なら・まちづくりコンシェルジュ」を創設しました（2011年現在13人）。
まちづくり団体の活動に役立つ情報の提供などを行っています。

※　コンシェルジュ：ホテルで観光の手配や案内などを行うスタッフ。
転じて、特定の分野や地域情報などを紹介・案内する人。

## 地域のまちづくり団体のサポートとして、こんなお手伝いをしています




## 「まちづくりマップ」づくり（コンシェルジュによる魅力創出事業）

歴史的な町並み地区において、まちづくり活動や、まちなかの魅力創出を推進するとともに、当該地区への来訪者の増加を目的として、なら・まちづくりコンシェルジュが、地元のまちづくり活動組織等と協働して、地域資源を収集・発掘し、まち歩き用「まちづくりマップ」の作成を行います。

# 氷室の郷土

# 福住

氷室神社

題字：植田　喜代美
挿絵：岡田　忠弘

まちづくりマップ

## 催　事

**●6月16日　山田町　虫送り**

稲につく害虫を松明で集め、地域の外へ送り出すとともに、殺生した虫の供養を行う農耕儀礼の伝統行事。市無形民俗文化財。

**●7月1日　氷室神社　献氷祭**

旧暦の6月1日に朝廷に氷を献上した故事にちなみ行われる祭り。神饌には、氷柱なども供えられる。

**●7月海の日　氷まつり（復元氷室、福住小学校）**

**●9月末頃　山田観月会（山田公民館）**

**●10月（第2日曜）氷室神社秋祭**

氏子が秋の収穫を祝う祭り。神社から御旅所への神輿などの渡御が行われる。

**●12月23日　さる祭り（別所・下之坊）**

収穫に感謝し、五穀豊穣を願って男の子どもだけが行う行事。

しめ縄や御幣、でんぼうなどを持ち、囃し立てながら練り歩き、「森さん」と呼ばれる山頂の祭祀場に納められる。市無形民俗文化財。

### アクセスマップ

●名阪国道福住ICまたは一本松ICを降りてすぐ
●天理駅から奈良交通バスで約20分
※バスの運行本数が少ないため、事前にご確認ください。
**奈良交通奈良営業所　TEL 0743-58-3030**

### 協働によるマップづくり

■奈良県では、地域資源を再発見するため、マップづくりを行っています。平成24年度は次の2地区で作成しました。

**福　住**（天理市）　**忍　阪**（桜井市）

■このマップは「福住郷土活性化プロジェクト協議会」と「なら・まちづくりコンシェルジュ（事務局：奈良県地域デザイン推進課）が協働で作成しました。
■平成25年（2013年）3月発行
■問い合わせ先：
福住郷土活性化プロジェクト協議会（福住公民館）　TEL 0743-69-2001
奈良県地域デザイン推進課　TEL 0742-27-7515

## 福住ゆかりの偉人

### 大仏修復の立て役者　山田 道安

山田を拠点に広く勢力を持っていた戦国時代の武将。山田民部大輔順貞といい、剃髪して道安と名乗り、山田岩掛城を築いてこの地を治めた人物です。

「紙本淡彩 鍾馗図」山田道安筆（円覚寺所蔵）

彫刻や絵画を好んだ武人画家として知られており、笠置の僧、楊月に画を学びます。

特に代表作である鎌倉市の円覚寺所蔵の鍾馗図（重要文化財）は「道安の鍾馗図」と言われ、高く評価されています。

永禄十年（1567年）東大寺の大仏殿が松永久秀の焼き討ちにあい、大仏の首が落ちたとき、道安が一部修復したといわれています。

晩年は天正元年(1573年)に没するまで、蔵輪寺で暮らしました。

### 女性パイロットのさきがけ　前田 あさの

昭和51年に放映されたNHKの連続テレビ小説「雲のじゅうたん」のモデルのひとり。明治38年山辺郡福住村生まれ。

17歳で女性パイロットをめざして上京し、東京蒲田の日本自動車学校航空科に入学。外国語の辞書を片手に勉強し、学科・地上訓練を経て逓信局のテストに合格、日本で4番目の女流三等飛行士になりました。

奈良に戻って民間の飛行機会社に勤務し、昭和3年当時の女性飛行士としては最高の二等飛行士の免許を取得。6年間関西の空を飛びましたが、昭和5年結婚して“雲のじゅうたん”からは姿を消しました。昭和54年74歳で没。

複葉機を背にした あさのさん（かつての奈良練兵場で）

## 福住の歴史

～のどかな山里の風景が広がる大和高原～

福住は、天理市の 東部に位置する大和高原地域です。縄文時代から人の営みがあったことが遺跡から出土した土器で証明され、5世紀には大和高原一帯は闘鶏国と呼ばれる古代小国家が形成されていました。

中世には興福寺の傘下に福住氏・山田氏が興り、他の大和武士同様に群雄割拠の中にいたようです。その中で福住氏は、筒井氏との強い姻戚関係にあり大きな力を持つようになります。

江戸時代に天下が統一されると、福住地域も幕藩体制に組み入れられ、明治になり大字福住、山田、長滝が一つになって山辺郡福住村が設立、昭和29年天理市に合併され、福住町、山田町、長滝町となりました。

昭和39年に名阪国道が開通したことで、人やものの動きが大きく変わりました。

名阪国道開通前の福住IC付近（昭和38年）

現在の同じ場所（平成24年）

## 氷室ってなに?

冷蔵庫のない昔、古墳時代からあった天然の氷の貯蔵庫を「氷室」といいます。冬の間に池に張った氷を切り出して、山に掘った大きな穴に溶けないように茅などをかぶせて貯蔵しておき、夏になると掘り出して皇室へ献上し、氷を使用していました。その氷室跡がこの福住町にも残っています。

奈良時代に編纂された『日本書紀』に天然の氷を貯蔵した「氷室」が闘鶏にあったと記されています。

昭和63年の平城京跡長屋王屋敷発掘調査で、多数の木簡が出土し、その中から和銅5年(712年)の「都祁氷室」と記された木簡が発見され、福住の氷室から奈良の都（平城京）へ氷が運ばれていたことが明らかになりました。

復元された氷室（福住町）

まちづくりマップ

# 氷室の郷土 福住



## ① 七曲り峠

福住町から奈良市中畑町へ通じるその名のとおり曲がりくねった七曲り道にある峠。廃道になっていたのを平成18年に地元住民により復興。



## ②受け取り地蔵

七曲り峠の頂上にある地蔵菩薩石仏。建長5年(1253年)、鎌倉時代の彫刻。ふっくら美しい地蔵。石仏が野に祀られる初期のもので、今も別所の共同墓地の「受け取り地蔵」と呼ばれている。



## ③下之坊・婆羅門杉

奈良時代、聖武天皇の勅願により創建されたと伝わる永照寺下之坊。山門代わりにそびえたつ二本の大杉は婆羅門杉と呼ばれ、推定樹齢800年。神秘的なパワースポット。



## ④泥かけ地蔵

県道福住矢田原線の道端にある明徳元年(1390年)南北朝時代の双石仏。阿弥陀如来と地蔵菩薩が彫られており、双石仏としては最古。身体に具合の悪いところができると、石仏の同じ場所に泥を塗り、病の治癒を祈る風習から「泥かけ地蔵」と呼ばれる。



## ⑤八つ岩

素戔嗚尊によって退治された八岐大蛇が八匹の蛇になって天に昇り、布留川上流の日の谷に降臨した夢を石上神宮の神官が見たので、その場所へ行くと、大きな岩に神剣が刺さり、岩は八つに割れていたと伝わる。神官が神剣を持ち帰り、社を建ててお祀りしたものが今の石上神宮の摂社出雲建雄神社(拝殿は国宝)。



C:桜峠からの夕日　秋



## ⑦塔の森

奈良時代の凝灰岩製の六重石塔(県指定文化財)で、もとは十三重塔。氷室神社祭神の闘鶏稲置大山主命の墓所とされている。



## ⑧氷室神社

全国的にも珍しい「氷の神」を祀った神社。創建は古く、社伝によると允恭天皇の時代(430年頃)と伝わる。祭神は、闘鶏稲置大山主命・大鷦鷯命(仁徳天皇)・額田大中彦命の三人。
毎年７月１日に催される「献氷祭」は、旧暦の６月１日に氷が献上されたことにちなんだもの。



D:山田町の雪景色　冬





## ⑫蔵輪寺

真言宗高野山派の末寺で印度婆羅門僧正が建立。本尊は、地蔵菩薩半跏像(市指定文化財・通常非公開)。中世、この地を治めていた山田道安の菩提寺で、本堂の裏に道安父子の石塔が残っている。



## ⑨十王仏

十王とは、道教や仏教で地獄において亡者の審判を行う十人の王で、閻魔大王もその一人。隣の小さなお堂には、安政6年(1859年)、江戸時代の如意輪観音像と弘法大師像が祀られている。



## ⑩尻冷やしさん

国道25号線沿い応長元年(1311)鎌倉時代の阿弥陀石仏。当時、川のすぐそばにあったので、洪水の時、石仏のお尻が水に浸かっていたことから「尻冷やしさん」と呼ばれている。



## ⑪西念寺

江戸時代創建の融通念仏西念寺。茅葺きの本堂の木造阿弥陀如来像は、室町時代後半の作。観音堂には、木造十一面観音立像(県指定文化財)が安置されている。裏山に中世この地方を治めていた福住氏の墓がある。



## ⑥九頭神社

長滝町の氏神で、祭神は建御名方神。本来は竜神信仰で、水の神。
本殿の後ろに、日本に古くからある自然崇拝の原型の巨岩(磐座:いわくら)がある。



## ⑬岩掛不動

布目川添いの断崖にある線刻の不動明王磨崖仏。山田道安の作と伝えられている。崖の上の山に山田岩掛城跡がある。



## ⑭薬師寺

本尊の薬師如来座像(市指定文化財・通常非公開)は均整のとれた安定感のある仏像で、平安後期12世紀後半の作とみられる。すぐ隣に春日神社がある。

## ビュースポット



B:八つ岩からの眺望　夏



A:長滝町の桜　春

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子国土基本図（地図情報）を複製したものである。（承認番号 平 24 情複、第 738 号）

## 日本神様界のツートップ
### 日本魂と天照

日本書紀に大和神社の御祭神・日本大国魂神と伊勢神宮に鎮座される天照大神の二神はともに第十代崇神天皇の御殿の内に祀られていたとある。(天皇が神威をおそれ、天照大神を倭の笠縫邑に、日本大国魂神を市磯邑に移されたときが創建と伝わる。)

# 大和神社

## JR万葉まほろば線 長柄駅開業
## １００周年記念イベント

**平成26年9月23日（祝）**
**9時開始**

## クニの始まり ヤマトを歩く
### ～万葉まほろば沿線の歴史を訪ねて～

ＪＲ万葉まほろば線「長柄駅開業一００周年」を記念し、現地ウォークとセレモニーを開催します。

国の始まりの地「大和」の歴史・文化遺産と日本最古の道「山の辺の道」の自然を感じて巡ります。

道中は、地元「山の辺の道ボランティアガイドの会」が分かりやすく解説。

大和神社では、市の無形民俗文化財「紅しで踊り」もご覧いただけます。

**詳細は裏面**

### 雨乞い御礼の舞が復活
## 紅しで踊り

♪ ヨイトコ ヨイトコ ヨーイヤナー♪

毎年秋分の日に、大和神社「秋の大祭」で奉納される。 江戸時代の干ばつに苦しむ農民が大和神社に雨乞いを行い、願いが成就し雨をもたらし豊作となったため、感謝の気持ちを踊りで奉納したのが始まりと伝わる。一時、途絶えた踊りを昭和三十年に地元女性の保存会により復活。これ以後、しでを朱色に踊りが継承されている。いまは、地元幼稚園児のかわいい奉納も加わる。

# クニの始まりヤマトを歩く

## ～万葉まほろば沿線の歴史を訪ねて～

## （ＪＲ万葉まほろば線 長柄駅開業１００周年記念イベント）

【日　　時】　平成２６年９月２３日（火、祝）小雨決行
注１）「尚、荒天時の中止決定は当日の７時に決定します。ご確認は下記のお問合せ電話番号にてご確認下さい」

【集合場所・時間】　天理市 黒塚古墳　　９時００分
※最寄駅ＪＲ桜井線（万葉まほろば線）柳本駅より 東へ徒歩約５分

【募集人数】　７０名(事前申込み・先着順)

【参加費用】　お一人様　３００円
含まれるもの　　説明員、資料費用・旅行傷害保険
含まれないもの　集合場所までの往復交通費・行程中の個人的費用

【特　　典】　ＪＲグッズのプレゼント

【行　　程】　９：００　黒塚古墳（開会式）、古墳・展示館見学
１０：００　崇神天皇陵　のぞき
↕　（天理市山の辺の道ボランティアガイドの会）
１１：００　天理市トレイルセンター（休憩）
１１：１０　長岳寺山門前　　（紅しで踊り）
１１：３５　柿本人麻呂歌碑説明
１１：４０　大和神社御旅所（昼食※各自持参）

注２）当日は高温が予想されますので、お弁当持参の場合は管理にご注意下さい。
１３：００　大和神社 紅しで踊り（無形民俗文化財）の実演を見学します。
１５：００頃「ＪＲ万葉まほろば線 長柄駅開業１００周年記念セレモニー」開催
※開業セレモニーの他に、JR 長柄駅関連のクイズ等をお楽しみ下さい。
注３）諸事情により、行程の一部変更となることがあります

**応募方法**

〈申込方法〉
平成２６年９月１日（月）より、下記の応募先電話番号までお申込み下さい。
※尚、定員になり次第受付は終了させて頂きます。

〈応募先・お問合せ先〉
天理市役所　産業振興課
「ＪＲ万葉まほろば線 長柄駅開業１００周年記念イベント」係
TEL０７４３－６３－１００１（代表）
主催＝ＪＲ西日本王寺鉄道部・天理市・歴史街道推進協議会
協力＝天理市山の辺の道ボランティアガイドの会

資料3

# 南部地区活性化プロジェクト 一覧

| No. | スパン | プロジェクト名 | 取り組み内容 | 地区 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期 | 周遊観光拠点整備プロジェクト | トレイルセンターにおいて、物販化に向けた施設整備と周遊観光の拠点としてサイクルスポット整備を行う。 | 柳本 | |
| 2 | 短期 | 物産高付加価値化モデルプロジェクト【3協議会横断】 | 事業者を募集し既存物産のパッケージデザイン等を総合プロデュースする。 | 柳本 | 朝和 |
| 3 | 短期 | “てんりの味”全国お届けプロジェクト【3協議会横断】 | 農産物・加工品等を“てんりBOX”として全国へ配送する（ふるさと納税も考慮）。 | 柳本 | 朝和 |
| 4 | 短期 | “大和・ちゃんちゃん”プロジェクト | 大和神社において、ちゃんちゃん祭の参加体験型化・呉海自と連携した大和PRを実施する。 | 朝和 | |
| 5 | 短期 | “灯りの魅力”向上プロジェクト | 柳灯会の再構築・ムジークフェスト連携。 | 柳本 | |
| 6 | 短期 | 日本版“王家の谷へ行こう”プロジェクト | 旅行、鉄道会社と連携した観光商品の開発。 | 柳本 | 朝和 |
| — | 関連事業 | 長柄駅100周年旅行商品開発プロジェクト | JR万葉まほろば線「長柄駅開業100周年」を記念し、JRと連携した旅行商品の開発を行う。 | 朝和 | |
| — | 関連事業 | 柳本まちづくりマップの作成 | 奈良県まちづくりコンシェルジュとの協働によるまちづくりマップの作成。 | 柳本 | |
| 7 | 中・長期 | “ヤマトの源流”周遊ナビプロジェクト | 各周遊拠点からのターゲット別ルート、案内サインを検討（桜井市、田原本町との連携） | 柳本 | 朝和 |
| 8 | 中・長期 | “手ぶらでおかえり”プロジェクト | 天理駅と連動した土産物配送システム。 | 柳本 | 朝和 |
| 9 | 中・長期 | 施設を活かした“道の駅”プロジェクト | 既存施設、コンビニを核とした道の駅化。 | 柳本 | |
| 10 | 中・長期 | まほろば線駅有効活用プロジェクト | 駅舎の未利用スペース、引き込み線の活用。 | 柳本 | |
| 11 | 中・長期 | 織田のゆかり×空き町屋プロジェクト | 空き町屋（武家屋敷）を活用し、織田藩のゆかりをPRする資料館や休憩できるおもてなしスペースを検討する。 | 柳本 | |
| 12 | 中・長期 | 先端技術と最古の融合プロジェクト | 企業と連携したウェアラブル端末観光案内、観光アプリの強化。 | 柳本 | 朝和 |

資料4

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 周遊観光拠点整備プロジェクト | 取組みスパン | 短期 |
| 事業概要 | ・トレイルセンターにおいて、天理及び近隣市町村の特産品・農産物を販売・PRする物販化に向けた整備を行い、南部地区の魅力を発信する拠点化を行う。<br><br>・サイクリスト向けに、スタンド・パンク修理キット等を備えたサイクルスポット整備を行い自転車による周遊観光の推進を図る。<br>・天理大学の学生と連携し、授業の一環としての運営参加を検討する。 | | |
| 事業目的 | 物販化による南部地区のPR拠点の整備、周遊観光拠点としての機能整備 | | |
| 目標年度 | 平成　　年度 | | |
| 推進委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | 物販化に伴う諸課題の解消、施設のハード面整備 | | |
| 作業イメージ | ・大学との連携協議（授業として組み込めるか等）<br>・販売商品の選定・リストアップ作業<br>・施設整備の内容検討（什器の選定、レイアウトの検討）<br>・運営方法を協議・決定<br>・施設整備・運営開始 | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 物産高付加価値化モデル事業 【3協議会横断】 | 取組みスパン | 短期 |
| 事業概要 | ・事業者を募集し、既存物産のパッケージデザイン等の総合プロデュースによる高付加価値化を行う。<br>・天理駅周辺地区、南部地区、高原地区の各協議会で事業を検討し、横断的な戦略を実施する。 | | |
| 事業目的 | 南部地区の既存物産を高付加価値化し、国内外に発信できる天理市発の物産を創出する。 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 推進委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | プロデューサーの選定、プロデュース経費、高付加価値物産のPR支援 | | |
| 作業イメージ | ・プロデューサー決定（デザイナー、パテシエなど）<br>・参加事業者公募<br>・県事業ヒヤリング　→　審査　→　決定<br>・参加事業者決定<br>・プロデュース、試作、製品化 | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | “てんりの味”全国お届けプロジェクト 【3協議会横断】<br>（農産物・加工品を全国へ配送（ふるさと納税）） | 取組みスパン | 短期 |
| 事業概要 | 四季折々の地元産農産物やそれらを使った加工品等を詰め合わせた“てんりBOX”をふるさと納税の記念品として納税者に送付し、出身者の人には懐かしさを、そうでない方には天理の魅力を堪能してもらい、全国的な認知度向上を図る。<br>他市町村が既に実施しているため、差別化を図れるような仕掛けを検討する。 | | |
| 事業目的 | 既存の商品の魅力向上・効果的PR、地元経済の活性化 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 推進委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | 納税による記念品贈与の制度整備 | | |
| 作業イメージ | ・制度の構築（申し込み方法・贈与の仕方を検討）<br>・記念品の内容検討（農産物の旬、加工品等の選定）<br>・広報（ポスター・チラシ等のデザインの検討・作成）<br>・運営開始 | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | “大和・ちゃんちゃん”プロジェクト事業<br>（祭の参加体験型化・呉海自と連携した大和PR） | 取組みスパン | 短期 |
| 事業概要 | ・伝統的な行事であるちゃんちゃん祭の御渡りについて、県の文化財指定を進めるとともに、行列への参加を一部一般に開放し、体験できる伝統行事として観光客にPRする。<br><br>・大和神社の認知度向上策として、日本人の多くが知る戦艦大和とのゆかりをPRするため、呉の海上自衛隊と連携した行事を検討・実施する。 | | |
| 事業目的 | 伝統文化の体験型化・歴史的ゆかりの強化によるスポットの魅力向上 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 推進委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | 海上自衛隊との連絡調整等 | | |
| 作業イメージ | ・大和神社・関係地元への事業案の提示<br>・祭りへの一般参加の内容検討／呉の海自への協力依頼<br>・広報の内容、募集方法の検討／行事内容の検討（既存への参加 or 新規）<br>・参加募集／広報PR<br>・実施 | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | “灯りの魅力”向上プロジェクト事業<br>（柳灯会の再構築・ムジークフェスト連携） | 取組みスパン | 短期 |
| 事業概要 | ・黒塚古墳周辺を舞台とした灯りイベント「柳灯会」を再構築する。<br>燈籠設置箇所を、休止中の千燈会の範囲（長岳寺周辺）及び崇神天皇陵周辺まで拡大し、柳本町の象徴的な灯りイベントに拡大する。<br><br>・奈良県のムジークフェストと連携し、音楽的な要素を強化することで効果的に魅力の向上を図る。 | | |
| 事業目的 | 既存イベントの連携・強化による地区の象徴的なイベントの創出 | | |
| 目標年度 | 平成　　年度 | | |
| 推進委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | 行政間での諸課題の調整、必要な手続き等の実施 | | |
| 作業イメージ | ・柳本もてなしのまちづくり会、実行委員会への事業案の提示<br>・再構築の内容検討（実施範囲、それに伴う経費・人員等について）<br>・運営ボランティアの募集／音楽イベント出演者の検討／燈籠、備品機材等の準備<br>・広報PR<br>・イベント実施 | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 日本版“王家の谷へ行こう”プロジェクト事業<br>（旅行、鉄道会社と連携した観光商品の開発） | 取組みスパン | 短期 |
| 事業概要 | ・旅行会社・鉄道会社と連携し、南部地区の歴史・文化遺産と豊かな青垣の自然を活かした観光商品を開発する。<br><br>・山の辺の道等へ訪れることが困難な方のための介護旅行など、ターゲットに合わせた旅行プランの検討・提案を行い、より効果的な観光客の呼び込みを実施する。 | | |
| 事業目的 | 地区PRの推進と観光集客の向上 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 推進委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | 事業実施に係る調整全般 | | |
| 作業イメージ | ・旅行会社・鉄道会社との連携協議<br>・観光商品の内容検討（南部地区として内容を提案）<br>・市、地元としての観光客の受け入れ態勢を協議（おもてなしの仕方）<br>・広報・PR活動（企業側PRに加え、広報誌・HP等で広くPR）<br>・実施 | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | “ヤマトの源流”周遊ナビプロジェクト<br>（各周遊拠点からのターゲット別ルート、案内サイン） | 取組みスパン | 中・長期 |
| 事業概要 | 各周遊拠点（長柄駅、大和神社、トレイルセンター、柳本駅、黒塚古墳等）に降り立った観光客が、そこからどのように周遊観光すべきかがわかりやすい案内サインを検討する。ターゲット別に距離・所要時間を示した案内表示や観光アプリを活用し、2市1町協議会と連携した統一感のあるナビゲーションを目指す。 | | |
| 事業目的 | 来訪者フレンドリーな案内を行うことで、スムーズに周遊観光を楽しんでもらえる仕組みを構築する。 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 推進委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | | | |
| 作業イメージ | | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | “手ぶらでおかえり”プロジェクト事業<br>（天理駅と連動した土産物配送システム） | 取組みスパン | 中・長期 |
| 事業概要 | 周遊拠点（トレイルセンター）における特産品・農産物販売について、自宅へ配送するサービスに加えて、購入手続きしておけば天理駅で同じ商品を受け取れる遠隔サービスを構築する。<br>ハイカー・サイクリストに荷物の煩わしさなく周遊観光・買い物を楽しんでもらうことで、訪問者・地元の両方にメリットのある仕組みを検討する。 | | |
| 事業目的 | イベントにおける購買意欲を誘う仕組みを構築し、経済循環を活性化する。 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 担当委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | | | |
| 作業イメージ | | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 施設を活かした“道の駅”プロジェクト事業<br>（既存施設、コンビニを核とした道の駅化） | 取組みスパン | 中・長期 |
| 事業概要 | 既存施設を活かした周遊観光拠点として、黒塚古墳関係施設及びコンビニを核とした一体を新しい形態の“道の駅”化を検討する。<br>駐車場機能⇒黒塚古墳駐車場、販売機能⇒既存コンビニ、レスト機能⇒柳本公園（黒塚古墳）、総合案内機能⇒黒塚古墳資料館にそれぞれ持たせることで、道の駅に必要な条件整備を行う。 | | |
| 事業目的 | 休憩施設、物販、案内所機能を備えた周遊拠点の整備 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 担当委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | | | |
| 作業イメージ | | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | まほろば線駅有効活用プロジェクト事業<br>（駅舎の未利用スペース、引き込み線の活用） | 取組みスパン | 中・長期 |
| 事　業　概　要 | 無人駅であるJR柳本駅及び長柄駅について、JRと連携のうえ駅舎の未利用スペースを活用した地元が作るおもてなしコーナーを検討する。農作物の無人販売や手作りの工芸品、趣味の品の展示、地元の顔が見えるPRの拠点を構築する。 | | |
| 事　業　目　的 | 駅関係施設の未利用スペースの活用 | | |
| 目　標　年　度 | 平成　　年度 | | |
| 担　当　委　員 | | | |
| 実　施　主　体 | | | |
| 行 政 の 関 与 | | | |
| 作業イメージ | | | |
| 事　　業　　費 | | | |
| 財　　源 | | | |
| 備　　考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 織田のゆかり×空き町屋プロジェクト<br>（空き町屋（武家屋敷）を活用した歴史おもてなしスポット） | 取組みスパン | 中・長期 |
| 事業概要 | 柳本地区に伝わる“織田のゆかり”をPRする拠点として、地区に残る趣のある空き町屋や武家屋敷を活用し、ちょっとお茶で休憩できるカフェ的要素をもった資料館を検討する。甲冑その他ゆかりの品々を常設展示し、気軽に歴史に触れられるようにすることで、周遊観光の拠点としての魅力向上を図る。 | | |
| 事業目的 | 空き町屋の活用と認知が不十分な織田藩のゆかりをPRする | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 担当委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | | | |
| 作業イメージ | | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |

# 南部地区活性化プロジェクト ToDoシート

南部地区街づくり協議会

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 先端技術と最古の融合プロジェクト事業<br>（企業と連携したウェアラブル端末観光案内、観光アプリの強化） | 取組みスパン | 中・長期 |
| 事業概要 | ウェアラブル端末（身につけられる小型コンピューター端末）を開発する企業と連携し、山の辺の道や史跡古墳で実際の風景と昔の風景を重ね合わせて歴史をガイドする等、よりリアルな観光案内を遠隔的に実施する仕組みを構築する。<br>天理の歴史の深さと先端技術のギャップによる演出を前面に出し、企業が一緒にやりたいと思うようなPR・提案を検討する。 | | |
| 事業目的 | 話題性の高い観光案内の手法を構築し、集客・認知度の向上を図る。 | | |
| 目標年度 | 平成　年度 | | |
| 担当委員 | | | |
| 実施主体 | | | |
| 行政の関与 | | | |
| 作業イメージ | | | |
| 事業費 | | | |
| 財源 | | | |
| 備考 | | | |